



人々の生活と調和した豊かな湧水群

町並みについて

- ◆浮島神社(熊野座神社)がある湧水池を中心とした「浮島さん」の周辺は、豊富な地下水と加勢川水系の水を利用した田園風景が広がり、「水の郷」の呼称に相応しい農村景観を望むことができます。
- ◆平安時代に建立された浮島神社の他にも、時代を遡ると国史跡の井寺装飾古墳をはじめ、上官塚古墳、遠見塚等数基の遺跡が残り、古くから水と調和した生活が営まれてきた歴史を感じることができます。



町並みの中心(核)となる伝統的建造物



六嘉湧水群・浮島

- ◆「六嘉湧水群・浮島」は、阿蘇外輪山西麓にある台地部周辺に大量に貯留された豊かな地下水が湧出している、大規模な湧水群(13か所)の総称です。
- ◆湧水池の一角にある浮島神社(熊野座神社)がある一帯は、杜がまるで水面に浮かんでいるように映る姿から、「浮島さん」の愛称で親しまれ嘉島町のシンボリックな存在となっています。



湧水池と一体的な景観を成す浮島神社

清らかな湧水を湛える浮島神社の東側の洗い場は、日常的に野菜などを洗う住民の姿を見かけます。このように集落に隣接する場所に点在する湧水群は、今も生活用水として活用され地域の人々に親しまれています。